



2020年10月7日 投稿者: SATOXITS

GShell 0.6.2 - スムーズスクロール

社長：おはようございます。

基盤：外がただならぬ空気のようにです。

社長：どれ… ああ、とても良い天気ですね。上のほうに秋の空が出ています。

基盤：今日はこれを壁紙で行きましょう。



基盤：YouTube垂れ流してるとなぜかいきものがかりにロックインされてしまいます。

社長：高く評価マークは付けてないと思うんですけど。

基盤：潜在意識を察知してカワウソを呼び寄せてるのかも知れないですね。

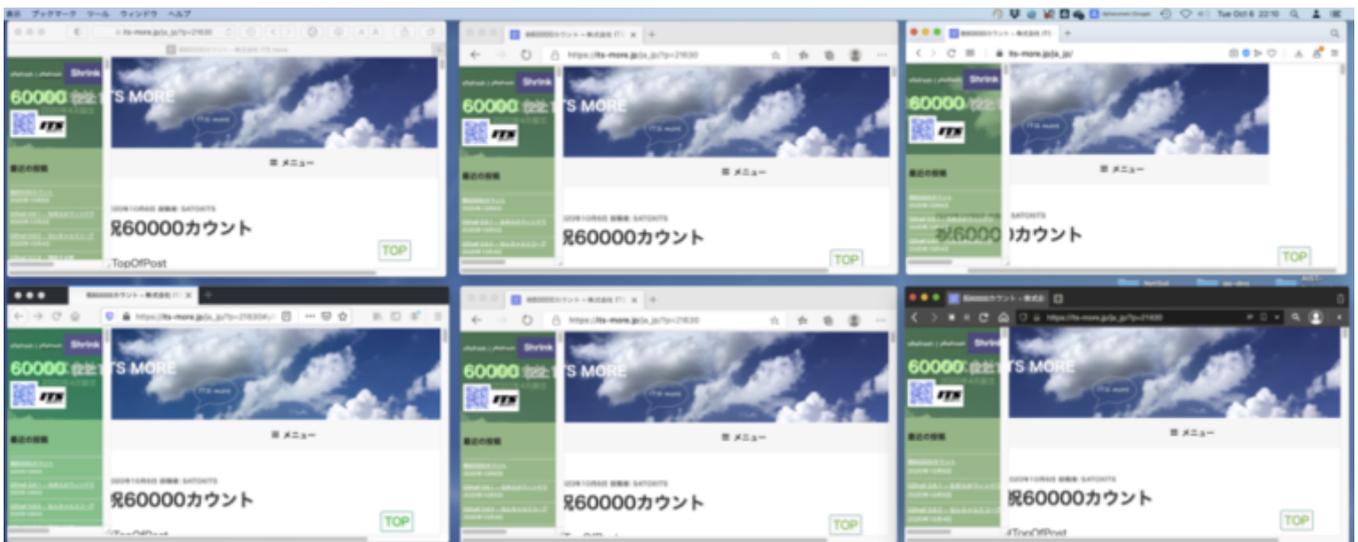
開発：ハイテクの極みですね。

社長：そもそも人間のカワウソ好きは本能的なものでしょう。

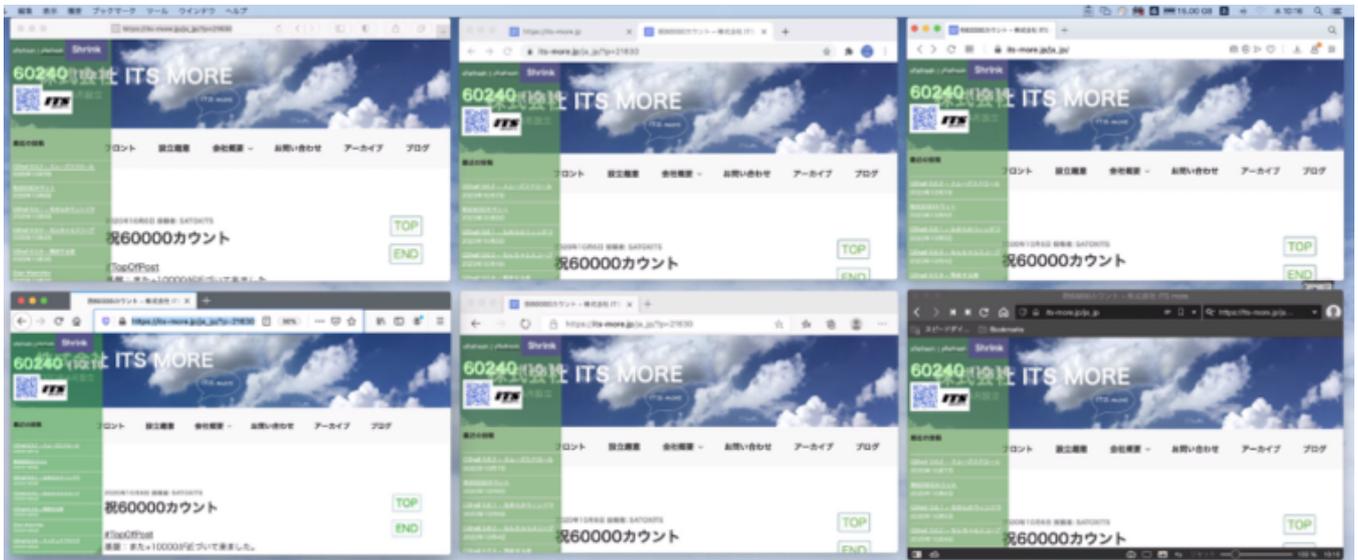
開発：齧歯類好きもですね。

社長：それはそうと昨日の60000祭りは思いのほか疲れしました。

開発：それで、昨日は主にMacMiniでテストしたのですが、今日iMacで同じように眺めたら異変に気付きました。



MacMini Catalina 10.15.7



iMac Retina Catalina 10.15.7

社長：違いのよくわからない男。ダバダー。

基盤：MacMiniのほうはスクロールバーの縦線が出てますね。

開発：そうなんです、これを消したくて昨日は結構時間をとられましたけど、各ブラウザ用の非標準のCSSである上に、効果がなかったんです。で、今日見たらこうなっていました。

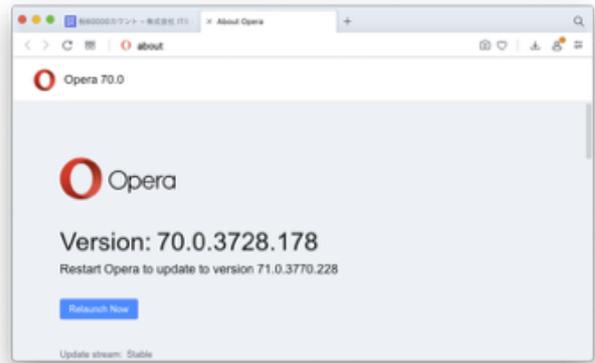
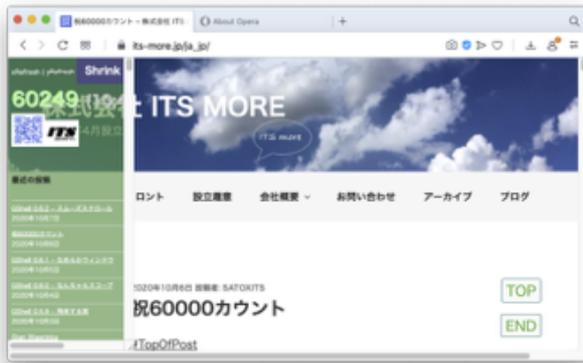
社長：ホスト側の機能が設定なんですかね。

開発：ウィンドウの見た目の設定と同類なのかなと。

基盤：それと、一人だけおかしかったOperaの表示位置が治ってます。

社長：バージョンの違いですかね？

開発：それが、今MacMiniで開き直したら、MacMiniのほうでも治ってしまっていました。バージョンアップも来てましたけど。



MacMini



iMac

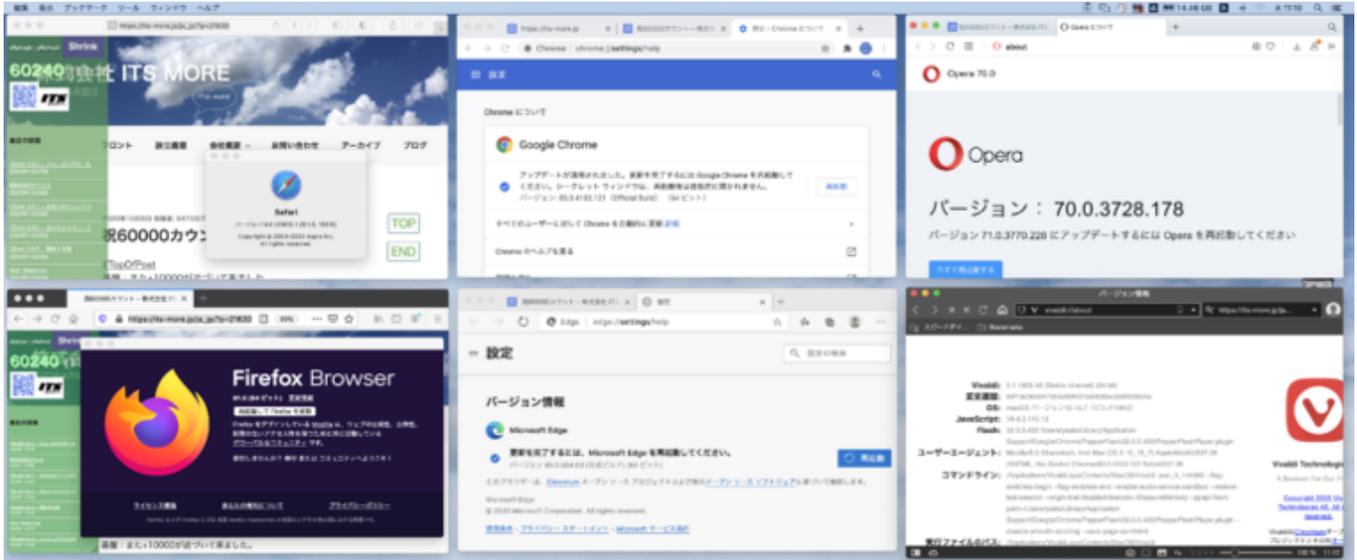
基盤：バージョンは同じですね。

開発：だから知りたいのは、これがいったいつの版なのかってことですよ。バージョン番号なんかどうでもいい。なんでバージョンの他に日付を表示しないかな。理解不能。

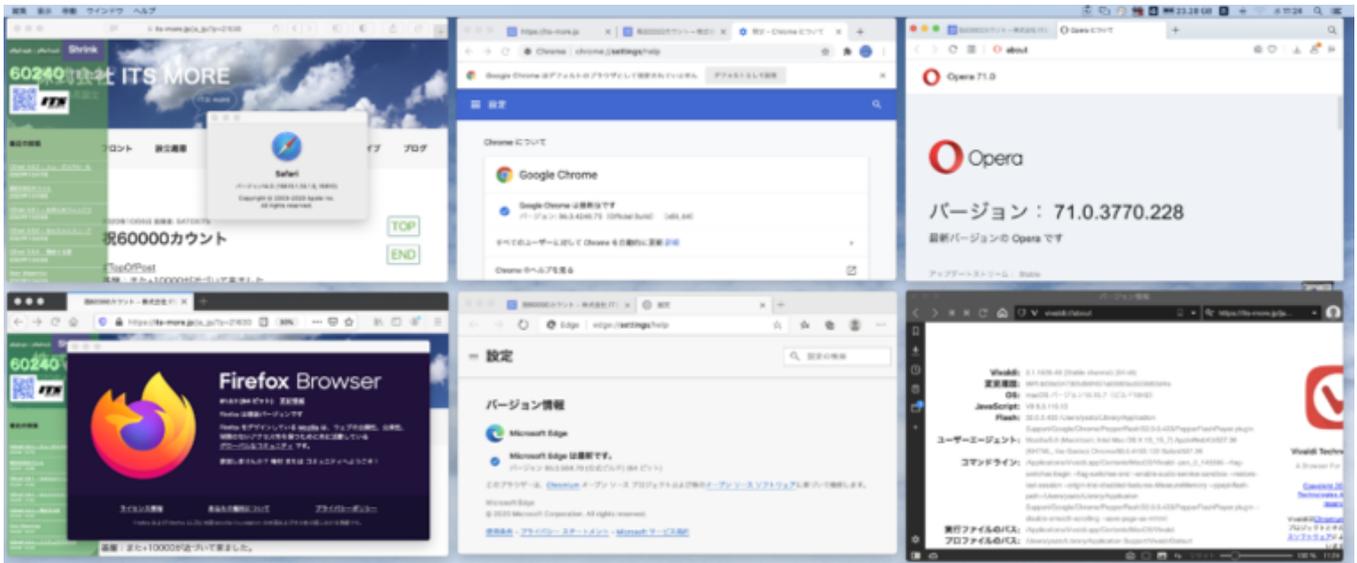
社長：MacMiniのOperaはもう何ヶ月もさんざんタブを開かれっぱなしで放置でしたからね。気がおかしくなったのかも。

基盤：タイムカプセルの蜜壺アリみたいな感じですね。

基盤：この際なので全ブラウザ最新にしましょう。

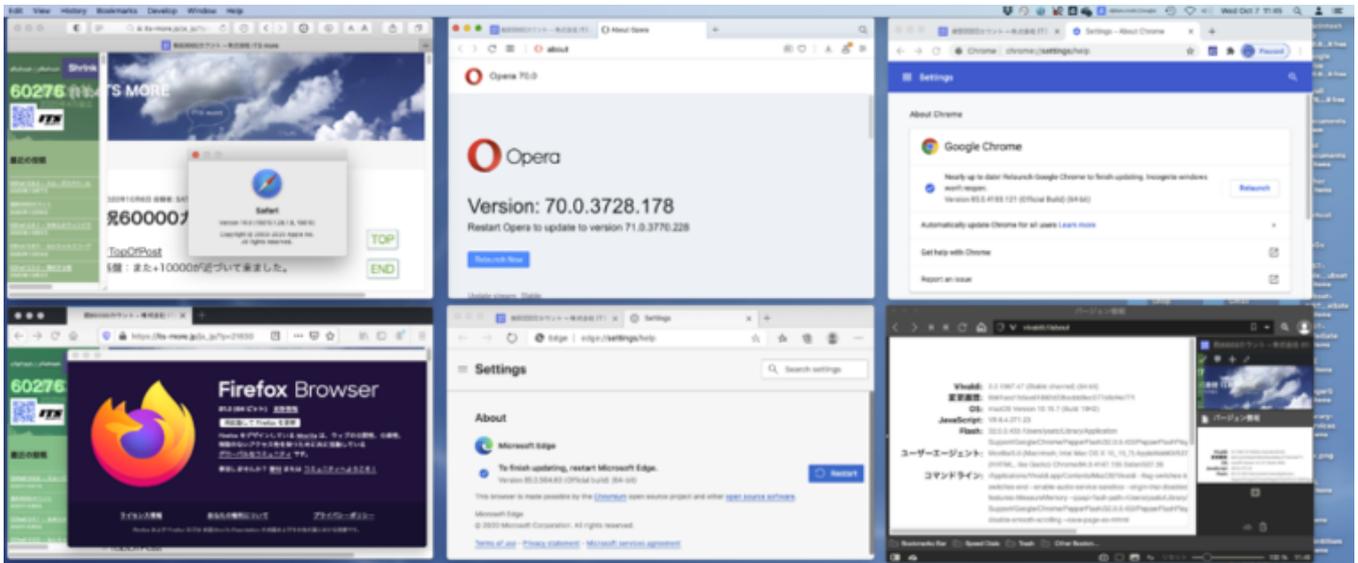


更新前 @ iMac



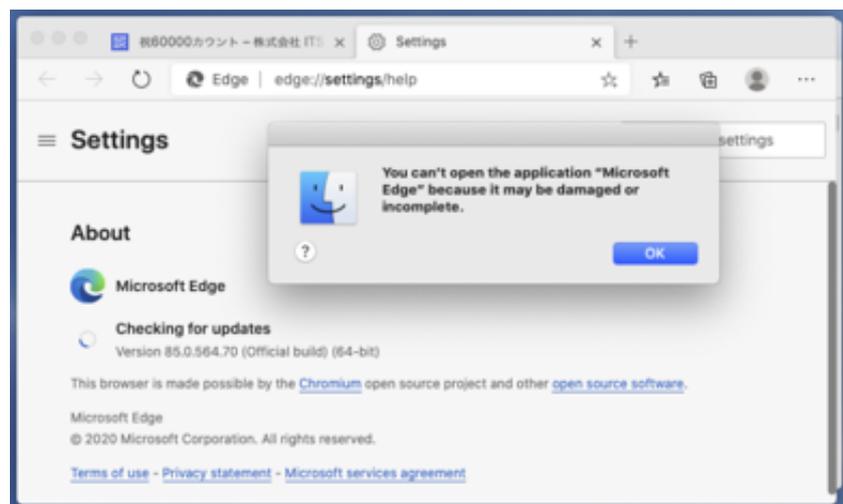
更新後 @ iMac

社長：MacMiniのほうも更新しましょう。



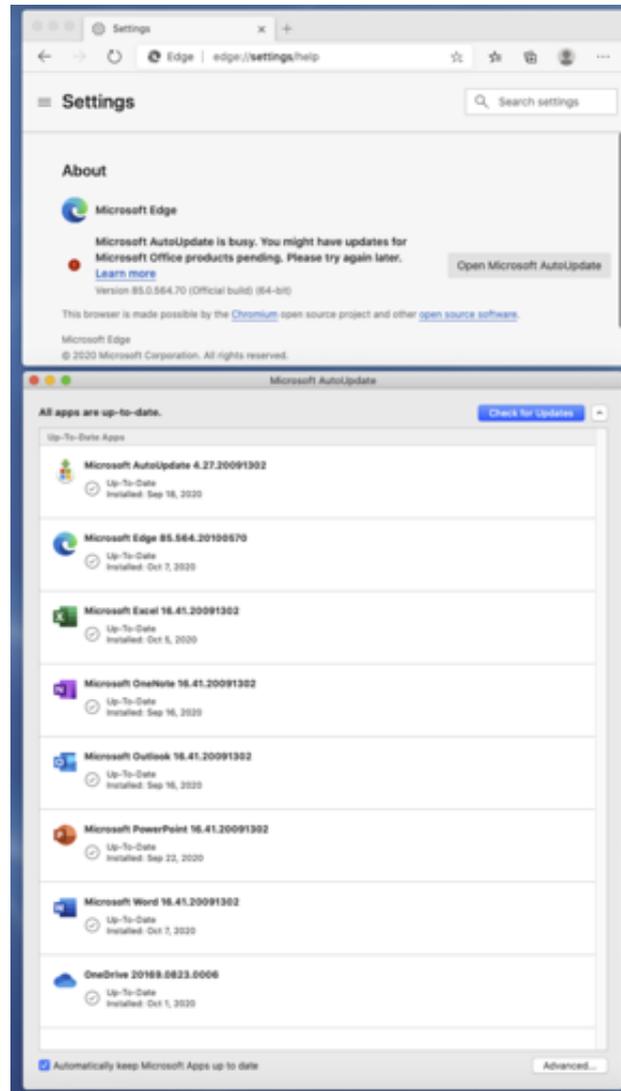
更新前 @ MacMini

基盤：あ、Edgeが脱落しました。



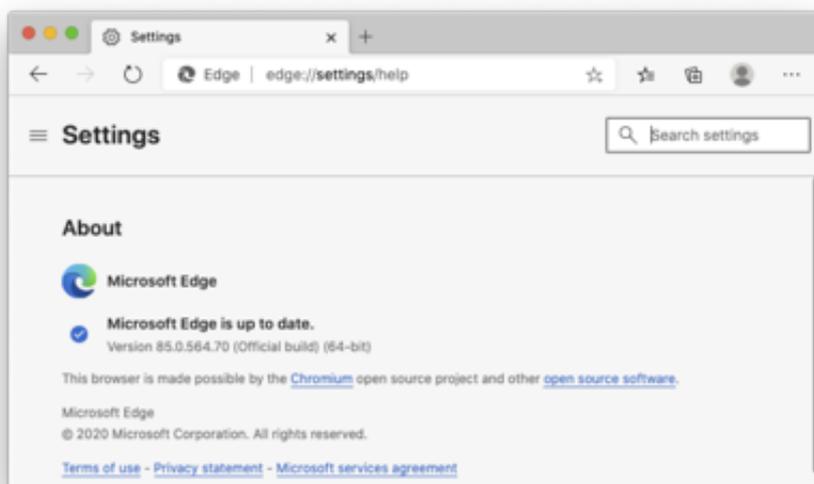
開発：先代の呪いですかね？

基盤：ああ、他のMSアプリと干渉してるみたいですね。パワポとか、インストールして起動してから一度も閉じたことないですよ。ぷちぷちと。でMSオートアップデート。治りました。

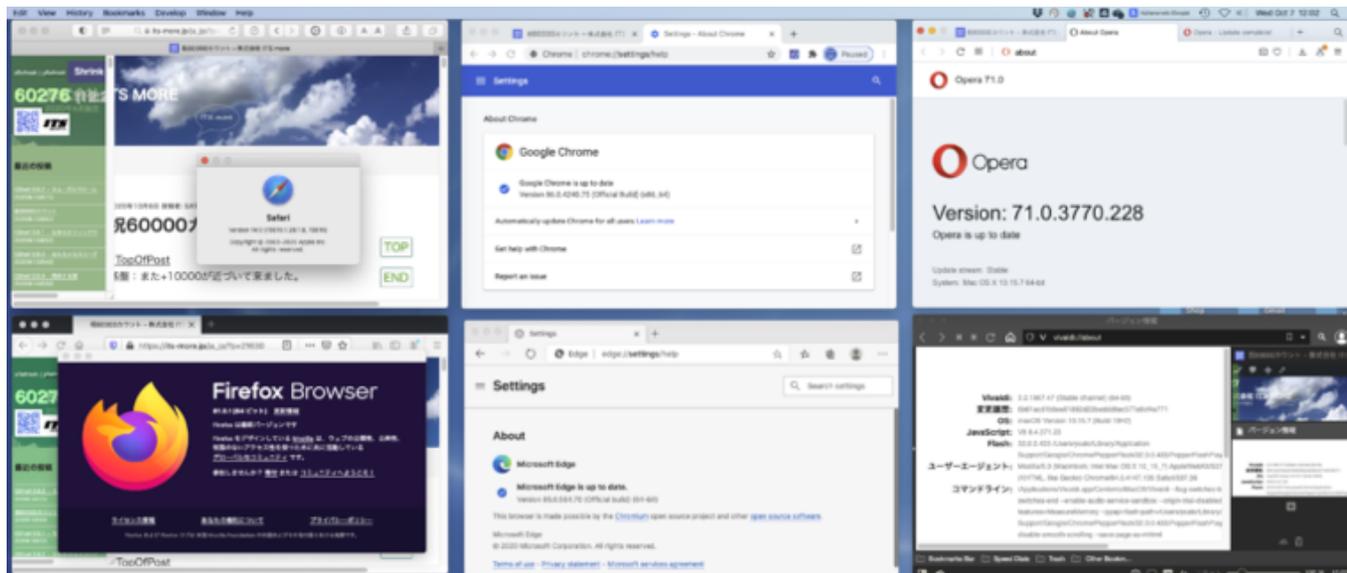


開発：日付がきちんと表示されるのが偉い！さすがにまともなメーカーは違う。

基盤：でも、インストールの日付であって、ソフトのリリース日付では無いですね。



基盤：更新完了。



更新後 @ Macmini

基盤：作業して確認したのですが、Opera系、特に Vivaldi はミッションコントロールというか、仮想デスクトップにちゃんと対応してない気がします。まっさらなデスクトップで「新しいウィンドウを開く」すると、前のウィンドウがあった仮想デスクトップに飛んでしまう。だから、いちいちデスクトップ間を手で移動しないといけない。

開発：仮想デスクトップとミッションコントロールの組み合わせでのスクリーンキャプチャも変になりました。録画開始パネルのショートカットが効かなかったり。オブザーバモードにしたら効いたり。

社長：Parallelsに浮気してるのがばれて嫌がらせですかね。

開発：スクリーンキャプチャは、画質の選択がその場でできないのが困るんです。まあとりあえずフル画質で保存してくれてもいいっちゃいいんですが、ファイルをドラッグ&ドロップするついでに右クリックで画質をぱぱっと選択できたらなと。

基盤：アクションでできるかもですね。

社長：ドロップ先によって画質のデフォルト値が選択できると良いですね。

基盤：あれ？iMacでアドビからなにかサゼスチョンが… お客様はライセンスを持っているのにフリー版を使ってますがみたいな。

開発：そんなこと勝手に調べていいんですかね？

社長：Pro DCをインストールしておきましょう。

開発：たかがAcrobatをインストールするのに、10秒くらいで終わりそうなものを、この所要時間って一体なんでしょうね？

社長：まあ特にDCの場合、抱き合わせのものをずるずる引っ張ってきて巣を作ってるんじゃないでしょうね。

基盤：インストール終了。あ… どへー。誘いをかけておいて、こう来ました。



開発：詐欺まがいの一種のようなものですね。

社長：まあ、Lenovo1でAcrobatを使うことはもう無いでしょう。

開発：当時はLenovo2を想定したネーミングでしたね。

基盤：ログアウト。

開発：しかしお金を払うと、同時に使える数が制限されるって変な話ですよ。

基盤：無償版相当に機能を落として続行いたしましょうか？ くらいのはウアのロボット店員だって聞いてきますよね。

社長：まあ、ありがちな釣られた魚モデルではあります。お腹すいたので食事してきます。

基盤：早速巣ができてますが。

アクティビティモニタ (すべてのプロセス)

CPU メモリ エネルギー ディスク ネットワーク

検索

プロセス名	PID	メモリ	実メモリ	CPU時間	% CPU	スレッド	送信バイト数
AccountProfileRemoteView...	90920	19.6 MB	44.8 MB	0.59	0.0	3	0 バイト
accountsd	455	481.5 MB	322.5 MB	7:05.04	0.0	3	0 バイト
Acrobat Pro DC	92091	207.4 MB	416.3 MB	9.12	0.0	24	0 バイト
Acrobat Reader	90890	168.2 MB	282.4 MB	5.36	0.1	23	0 バイト
Acrobat Reader Synchronizer	90896	10.0 MB	21.1 MB	0.29	0.0	13	0 バイト
AcroCEF	92093	171.7 MB	474.7 MB	1.95	0.0	21	0 バイト
AcroCEF Helper	92100	71.6 MB	143.7 MB	1.34	0.0	12	0 バイト
AcroCEF Helper	92351	62.8 MB	128.1 MB	1.00	0.0	12	0 バイト
adid	514	13.2 MB	15.4 MB	1.56	0.0	2	0 バイト
Adobe Acrobat Synchronizer	92105	11.2 MB	22.5 MB	0.44	0.0	13	12 KB
Adobe CEF Helper	92085	12.9 MB	27.3 MB	0.14	0.0	7	4 KB
Adobe CEF Helper (GPU)	92077	37.8 MB	75.2 MB	11.24	0.8	9	0 バイト
Adobe CEF Helper (Render...	92087	160.7 MB	274.7 MB	41.06	2.7	23	0 バイト
Adobe CEF Helper (Render...	92086	44.1 MB	99.9 MB	0.64	0.0	13	0 バイト
Adobe CEF Helper (Render...	92092	11.5 MB	26.9 MB	0.05	0.0	13	0 バイト
Adobe Desktop Service	91642	269.6 MB	826.7 MB	21.15	0.1	31	0 バイト
Adobe Installer	91689	2.0 MB	5.9 MB	0.04	0.0	3	0 バイト
AdobeCRDaemon	91659	1.7 MB	5.6 MB	0.65	0.0	4	0 バイト
AdobeCRDaemon	92094	1.7 MB	5.5 MB	0.60	0.0	5	0 バイト
AdobeCRDaemon	92084	1.7 MB	5.5 MB	0.60	0.0	4	0 バイト
AdobeCRDaemon	90891	1.7 MB	5.6 MB	0.82	0.0	5	0 バイト
AdobeIPCBroker	91185	14.6 MB	38.8 MB	1.63	0.1	18	0 バイト

メモリプレッシャー

物理メモリ:	48.00 GB	アプリケーションメモリ: 23.86 GB 確保されているメモリ: 4.44 GB 圧縮: 1.46 GB
使用済みメモリ:	29.76 GB	
キャッシュされたファイル:	10.21 GB	
スワップ使用領域:	359.0 MB	

* * *

社長：ひさしぶりにすきやきうどんたべてきました。空がパツとしなかったのでマテリアル系を採取。



基盤：拡大するとBMWのボンネットがシミだらけですね。

社長：そうなんです。で、半年ぶりにイオンコートしに行こうかなと。

開発：吾妻のエネオスでキーパーすか。

社長：あそこのキビキビした対応ぶりが好きなんです。

基盤：壁紙にしてみたのですが、これ、我が社の壁紙史上最大級のインパクトではないかと。



開発：腐ってもBMWですね。

社長：神は細部に宿る。

基盤：めったに乗らないせいか、半年放置でもそこそこですよ。

社長：なにがみすぼらしくなるかって、アルミホイールに付着するディスクブレーキの鉄粉なんですよ。乗らないからほとんど付着してない。

GShellサイドバー

開発：ふあ。あああ。寝た。

社長：外は雨ですかね。

基盤：台風が来ているようです。結構長居しそうな。

社長：明日帰省する予定だったのですが、しばらく延期です。

開発：デスクトップというのはプライベートなホームページだと思うんです。

基盤：いつもカレンダーと天気予報が出てると良いですね。

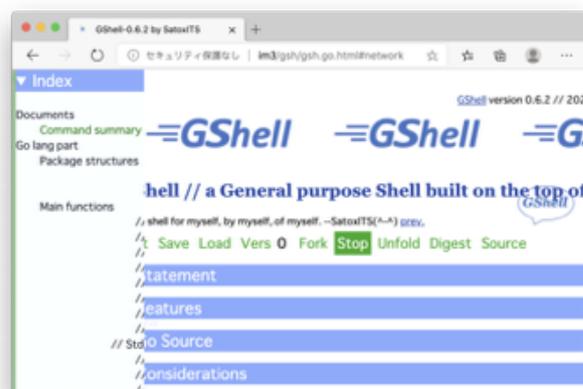
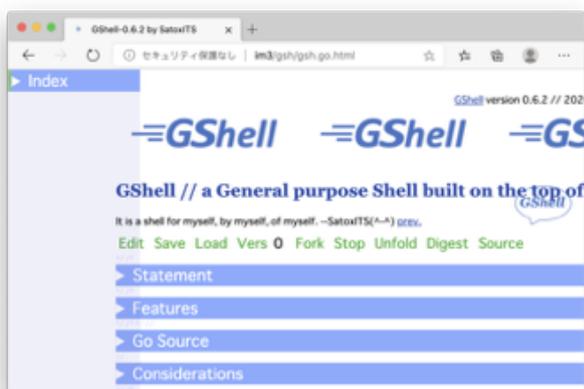
社長：ブックマークも含めて、昨日の流れで何か作ってみますかね。

開発：1日触ってないとドキドキしちゃいますね。

社長：会うときにはいつでも他人の二人♪

開発：まず昨日のブログに書いた script と style をコピーして GShell に組み込みました。

開発：基本構造的には、page の下に primary と secondary があり、primary の下に main があるので、それにならって、GShell のコードの中の相当する部分をそのように span で囲んで id を付けています。



基盤：かなり詫びしいですね。

* * *

開発：ふああ… また寝てしまいました。

社長：なにかこう、目の覚める様なサイドバーとコンテンツができると面白いですね。

開発：なにせここに表示しているの pre 表示を想定して作ったインデックスですから。Golang部用ですし。

社長：あの頃はこれからは details だっていう方向性でしたからね。それ自体がインデックスだという。別立てのインデックスに興味がありませんでした。

開発：特に、別出しの見出しとその先の間で行ったりきたりするのはちょっとあり得ないと思います。サイドバーであれば、見出しとコンテンツを並列に見れるのですが、最近の風潮でサイドバーが本体と癒着してしまっていてそれができなかった。

社長：見出しと検索のサイドバーでお手本だと思うのはMSのWordですね。あれは地道にととてもよくできていた。記憶によれば。

基盤：gsh.go.html は文書であることも目指しているので、参考にすべきと思います。

社長：特に構造レベルでの編集ですね。

開発：それでは今日のお題は、インデックスの自動生成で行きましょうか。あー、なんだか気合が湧いてきました。

社長：コーヒー入れてきます。

自動インデックス生成

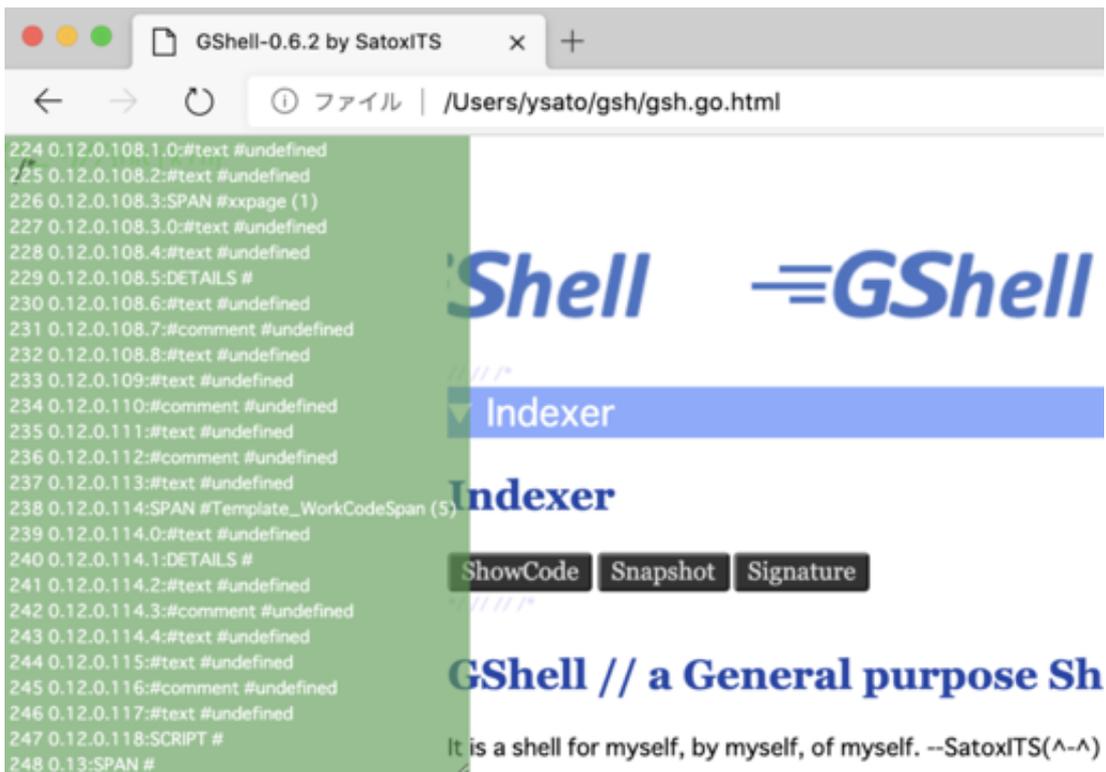
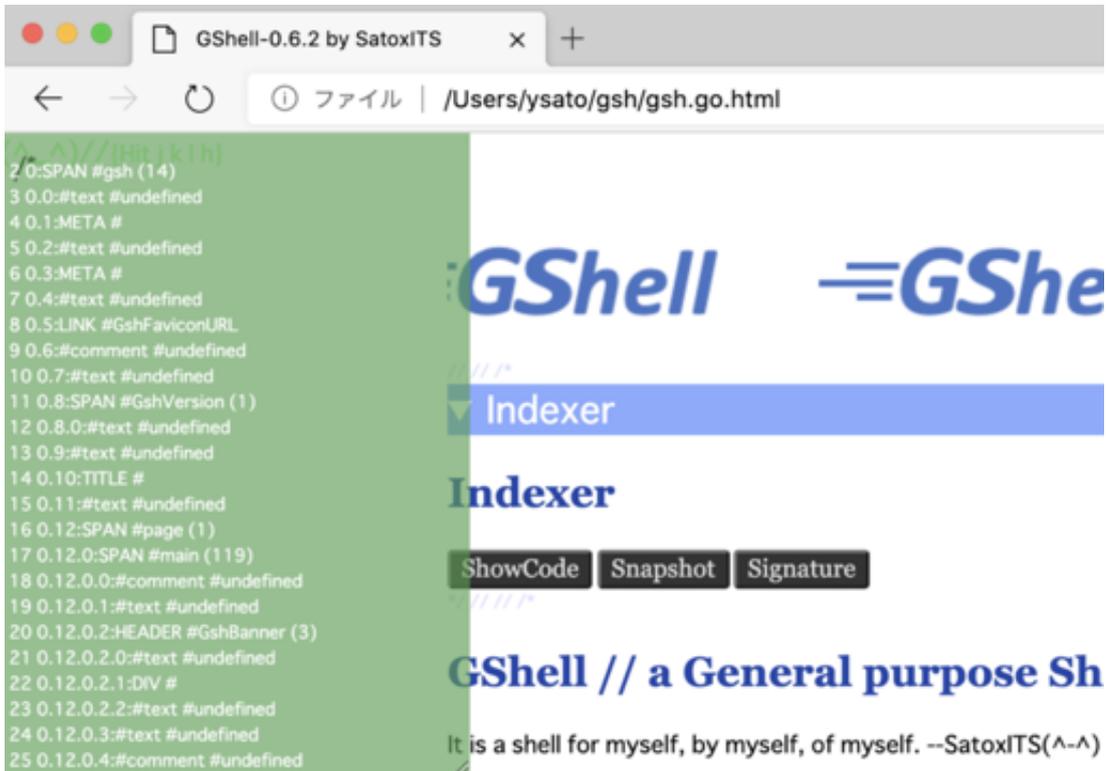
開発：gsh.go.htmlが10,500行を超えました。うち、Golang部が5,400行。

基盤：もうじき逆転しますね。

社長：名前をどうするかですね・・・

* * *

開発：やれやれ。またJavaScriptのツボにハマったというか勘違いで時間を潰しました。第一関門通過です。gsh.go.html 内の前タグというかエレメントをなめてindexにしました。



社長：つまり、全部で248個のタグがあるということですね。

開発：エレメントに挟まってるテキストとかも含めると1200を超えます。

基盤：こういうインデックスは見たことないです。ある意味目が覚めるというかw

開発：要するにDOMインスペクタの簡易版です。

社長：いっそ、DOMだけじゃなくてCSSOMのインデックスも欲しいですね。

開発：検討します。

社長：ちょっとコーヒブレイクしましょう。

* * *

開発：idを振ったタグだけに絞ったら46項になりました。



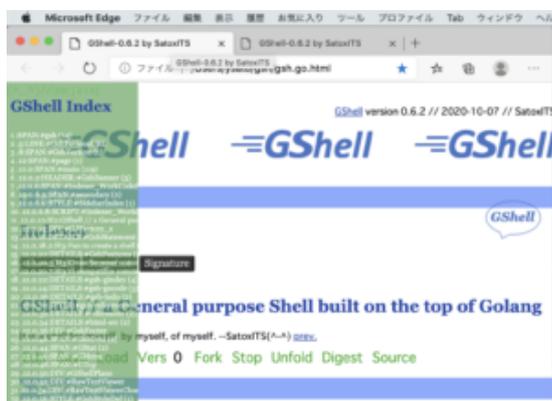
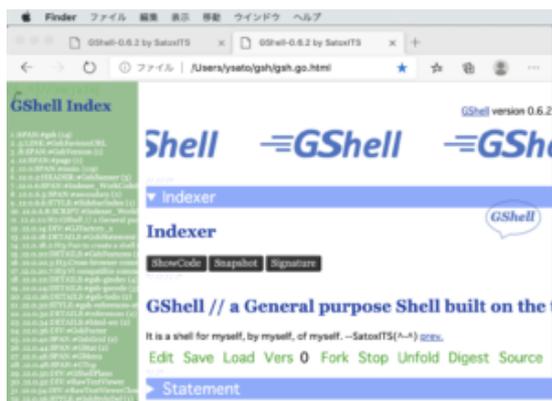
社長：おっと、これならマジで実用になりそうです。

基盤：最上位を、メタな情報と、ドキュメントと、Golangの部分と、JavaScriptの4部
みたいに分けるとよいかもですね。

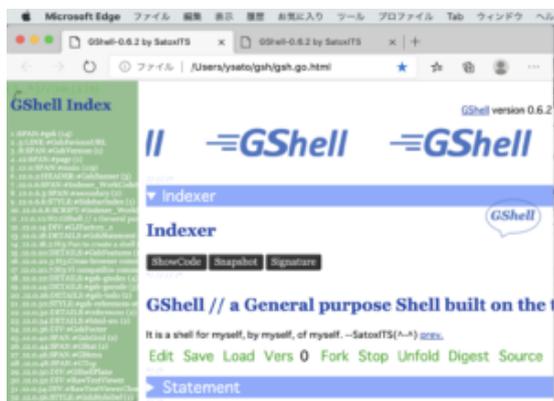
開発：そうしましょう。

それはブラウザの仕様でした

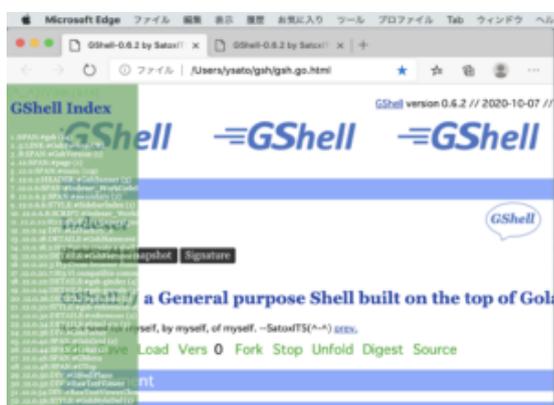
開発：さて、ほぼできましたがあと一步のところまで寸止め状態です。テープカットの前に、昨日の「Operaの表示がおかしい」問題について。あのように基本的なところでOperaが何か独自の処理をやっているとは思えないこと、それに再現性が無い事から、Chromium系共通の問題かも知れないと思っていました。で、実際それがEdgeでも発生しました。以下は同じページを表示していますが、上では正常位置に、下では異常な位置に、メインコンテンツが配置されています。リロードしても維持されます。



開発：それでもしやおもい、Shift+マウスホイールで本文を右スクロールすると、スクロールできました。その後リロードすると、その位置が維持されました。



開発：確認のために、中間的な位置にスクロールしてリロードすると、その位置が維持されました。



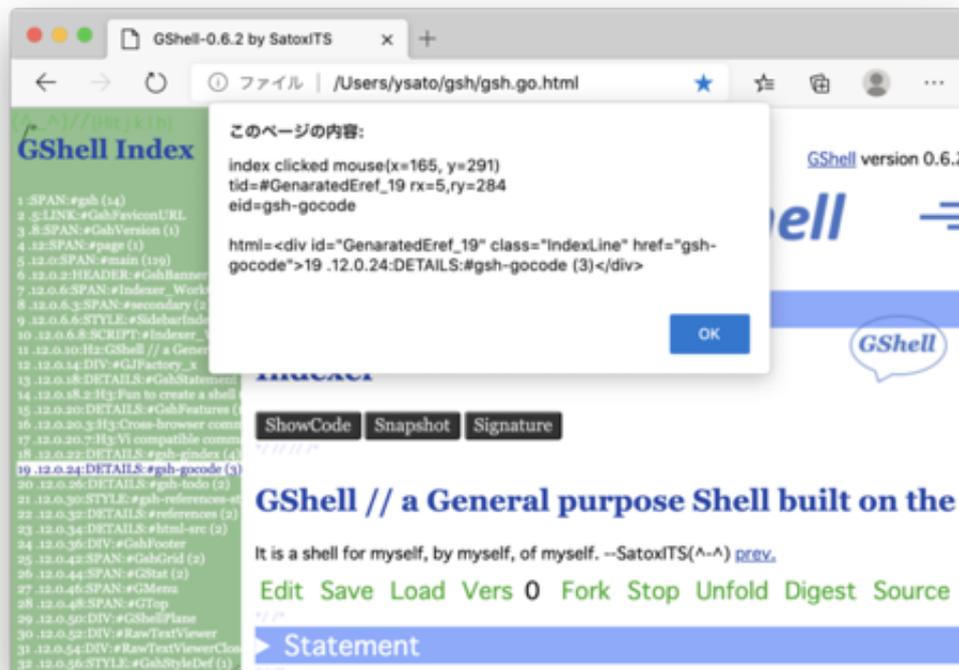
開発：で、考えてみると、ウェブページというのはリロードした時に、見ていた位置が保持されるのは当然です。だから、これは当然の振る舞いなのだと思います。FirefoxでもSafariでも同様になることを確認しました。

社長：なるほど、とんだ濡れ衣をかけてしまいましたね。

開発：HTMLを書き換えてて、ある意味別のコンテンツになっているはずなので、リロードしたらまっさらモードなるように思い込んでたんですね。

見出しからのジャンプ

開発：さて、その寸止め状態です。サイドバーのインデックスの中で項目を選んでクリックすると、そのジャンプ先はどこだというように表示してみました。



開発：跳び先のエレメントのidはわかっているので、そこが表示される様にスクロールしてちょーというメソッドを呼べば、完成の運びです。

社長：ワクワク。

基盤：目が冴えてきました。

社長：テープカットの前にコーヒーを入れましょう。

基盤：これ、Blenderのパッケージには20秒蒸らさせてあるんですが、さーっとお湯を通しちゃった方が美味しいと思うんです。

開発：賛成。

開発：では、おもむろに scrollIntoView()にして、クリック！

社長、基盤：おおーっ！

開発：details で畳まれている場合に対処するのと、mainの部分をサイドバー分オフセットする必要がありますが、原理的にはできました。

社長：んだね。

基盤：details の開け閉めも、サイドバーでできると良いように思います。

社長：んだな。

開発：そもそも main の部分を表示するエリアを、オフセットしたエリアの中に閉じ込めるのも良いかもしれません。

社長：そうですね。

-- 2020-1007 SatoxITS

[gsh-0.6.2.go](#)

ダウンロード

/* */ /*

```

1 :SPAN:#gsh (1
2 5:LINK:#GshF
3 8:SPAN:#GshV
4 12:DIV:#GshS
5 12.0:DIV:#Gsh
6 14:DIV:#GshM
7 14.1:HEADER:
8 14.5:SPAN:#Ir
9 14.5.3:STYLE:
10 14.5.5:SCRIP
11 14.9:H2:GShe
12 14.13:DIV:#G
13 14.17:DETAIL
14 14.17.0:SUMM
15 14.17.2:H3:Fu
16 14.19:DETAIL
17 14.19.0:SUMM
18 14.19.3:H3:Cr
19 14.19.7:H3:Vi
20 14.21:DETAIL
21 14.21.1:SUMM
22 14.23:DETAIL
23 14.23.1:SUMM
24 14.25:DETAIL
25 14.25.0:SUMM
26 14.29:STYLE:
27 14.31:DETAIL

```

GShell version 0.6.2 // 2020-10-07 // SatoxITS

GShell **GShell**

// // /*

▼ Indexer

Indexer

/ // // /

GShell // a General purpose Shell built on the top of Golang

It is a shell for myself, by myself, of myself. --SatoxITS(^-^)
[prev.](#)

Edit Save Load Vers 0 Fork Stop
 Unfold Digest Source

```
28 14.31.0:SUM
29 14.33:DETAI
30 14.33.0:SUM
31 14.35:DIV:#G
32 14.41:SPAN:#
33 14.43:SPAN:#
34 14.45:SPAN:#
35 14.47:SPAN:#
36 14.49:DIV:#C
37 14.51:DIV:#R
38 14.53:DIV:#R
39 14.55:STYLE:
40 14.59:SCRIPT
41 14.61:DIV:#G
42 14.67:SCRIPT
43 14.71:SPAN:#
44 14.75:SPAN:#
45 14.75.1:STYL
46 14.75.7:DETA
47 14.75.7.0:SUM
48 14.75.7.2:SPA
49 14.77:SCRIPT
50 14.83:SPAN:#
51 14.83.1:DETA
52 14.83.1.0:SUM
53 14.87:SCRIPT
54 14.89:STYLE:
55 14.97:SCRIPT
56 14.103:SPAN:
57 14.107:SPAN:
58 14.113:SPAN:
59 :DIV:#primat
60 1:MAIN:#ma
61 1.1:ARTICLE:
```

```
*/ /*
```

▶ Statement

```
*/ /*
```

▶ Features

```
*/ /*
```

▶ Index

```
*/ //
```

▶ Go Source

```
//
```

▶ Considerations

```
// /*
```

▶ References

```
*/ /*
```

▶ Raw Source

```
*/ /*
```



```
*/ /*
```

▶ GJ Console

```
*/ /*
```

▶ Form Auto. Filling

```
*/ /*
```

▶ BlenderText

```
*/ /* */ // //
```

▶ Golang / JavaScript Link

```
/*
```

▶ GJ Link

```
*/ /* */ /*
```

▶ Live HTML Snapshot

```
*/ /*
```

▶ Event sharing

```
*/ /* // //
```

▶ Wirtual Desktop

```
*/ // // // // /*
```

▶ SBSidebar

```
*/ // // // // // /*
```

▶ Work Template

```
*/ // // // // //
```


//